

第25回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

○日 時：平成23年12月6日（火）15時00分～16時40分

○場 所：岡山商科大学 井尻記念館 4階 多目的ホール

○出席者：23/36

○欠席者：岡山県立大学（桂），岡山学院大学（友近，高田），岡山商科大学（小笠原），岡山理科大学（石田），川崎医科大学（堀江），川崎医療福祉大学（金光），環太平洋大学（早田），くらしき作陽大学（菅原），就実大学（土井），ノートルダム清心女子大学（加藤），美作大学（片山），岡山経済同友会（1名空席）

○陪席者：岡山大学（野首），山陽新聞社（在間），中国銀行（中島）

○議 事：

議事に先立ち，井尻会長（岡山商科大学学長）から挨拶があった。続けて，大崎運営委員長（岡山商科大学副学長）から前回議事要旨（案）の確認が行われ，原案どおり承認された。

○審議事項

1 岡山オルガノン事業継承案について

委員長から，【資料1】に基づき，詳細な説明があった。

コンソーシアムの設立主旨やこれまでの事業内容，岡山オルガノンの活動成果を元に，次年度以降のコンソーシアムのあり方について，以下の提案があった。

- ・岡山オルガノンの主要事業について，継承のための事業計画案及び予算計画案を提示した。
- ・各事業部に委員会を設置し，委員会方式による運営としたいので，コンソーシアム及び岡山オルガノンにおいて関連する委員会委員等の関係者には，引き続き協力をお願いしたい。
- ・岡山オルガノン継承の際，大学コンソーシアム岡山規約及び大学コンソーシアム岡山事業部規程の改正を行う。

審議の結果，本件については来年1月に開催される代表者会議へ諮ることが承認された。

2 平成24年度事業計画案について

委員長から，【資料2-1～3】に基づき，平成24年度事業計画について，本年度からの変更点を中心に以下の説明があった。

<大学教育事業部>

- ・1月13日を締切として，平成24年度単位互換科目提供依頼を行っている。岡山オルガノンで行っている遠隔型科目については，別途岡山オルガノン担当者から提供依頼がなされる。
- ・「大学コンソーシアム岡山」参加大学相互間の単位互換に関する実施要項を改正する。

- ・特別会員の単位互換協定への試行参加について、3年間の期間延長を行う。
現在参加していない3特別会員に意向を伺っているため、参加希望があれば、次回の代表者会議に諮りたい。本委員会には、追って審議いただく。

＜社会人教育事業部＞

- ・予算削減のため、吉備創生カレッジ講師謝金額を1回 5,000円から 3,500円に減額した。
- ・12月9日を締切として、平成24年度前期吉備創生カレッジ科目提供依頼を行っている。

＜産学官連携事業部＞

- ・岡山県経営者協会が実施してきた「インターンシップ事業」について、就職支援委員会への引継ぎを打診され、委員会及びWGにおいて検討中であるが、コンソーシアムにおいて資料のとおり本事業を実施したい。
- ・ボランティア活動に係る外部からの協力要請が増えたため、情報を集約して加盟校へ案内するとともに、ホームページ上で広報する。
- ・岡山オルガノンで実施されているエコナイト及び地域活性化・地域連携活動を継承する。

審議の結果、次回の代表者会議に諮ることが承認された。

3 平成23年度収支決算（案）及び平成24年度予算（案）について

委員長から、【資料3】に基づき、詳細な説明があった。

ノートルダム清心女子大学の鈴木委員から、各大学の負担金について、資料のうち3-6、3-7についてはコンソーシアム、1-19については各大学が個別に支払うという認識で良いか、また1-19に注意事項として記載されているビデオ会議システム保守費は支払った方が良いのかとの質問があった。これに対し、委員長から、負担金の支払い方法についてはそうであるとの回答があった。また、木村岡山オルガノン大学教育連携センター長（岡山理科大学学外連携推進室副室長）から、保守費は各大学の判断に任せるが、特にライブ型講義を配信している大学は、システムに障害が発生した場合に受信大学の受講生に対しては休講対応になる等の問題を減少するためにも、出来る限り保守契約をお願いしたいとの発言があった。

審議の結果、次回の代表者会議に諮ることが承認された。

4 平成24年度事業部及び事務局体制について

委員長の指名により、会長から、机上配付資料に基づき、会長校の当番制について会長私案が示され、本会の主旨に照らし協力をお願いしたいとの要望があった。審議の結果、次回の代表者会議に諮ることが承認された。

また、委員長から、各委員から代表者会議の審議が円滑に進行するよう、本日の審議事項について事前に所属学長にご相談いただきたい旨、必要があれば委員長及びセンター長が各大学を訪問し説明するので申し出ていただきたい旨の発言があった。

5 第13回代表者会議について

委員長から、【資料4】に基づき説明があり、次回代表者会議の議題について承認された。

○報告事項

1 各事業部報告について

各事業部から、以下のとおり議題について報告があった。

(1) 大学教育事業部

委員長から、【資料5-1】に基づき、今年度前期及び後期の単位互換履修状況について説明があった。

(2) 社会人教育事業部

大槻事業部リーダー（川崎医科大学学長補佐）から、【資料5-2】に基づき報告があり、平成23年度前期及び後期の吉備創生カレッジの受講者数について報告があり、前期は半期500人を超え定着してきたと思われること、またアンケート等から地域づくりや歴史・文化の講座が人気である傾向が引き続き見られることの報告があった。次年度以降に委員会方式になれば、各大学から選出された委員により、今後の運営方針について検討する材料となるのではないかとの説明があった。

続けて、山陽新聞社における収支状況について資料を基に説明があった。山陽新聞社の在間部長から、講座提供への謝辞が述べられ、引き続きカレッジを実施していきたい旨の発言があった。

さらに、リーダーから、吉備創生カレッジの単位を20単位及び40単位取得された受講生に単位認定式を行い、単位認定証と記念品（楯）を贈った旨が報告された。

(3) 産学官連携事業部

木村事業部リーダー（岡山理科大学学外連携推進室副室長）から、【資料5-3】に基づき、就職支援委員会の協議内容について報告があった。

2 同友会主催：東日本大震災復興支援ボランティアについて

委員長の指名により、原副委員長（(社)岡山経済同友会教育問題委員会委員長）から、本ボランティアの実施報告があった。

続けて、委員長から、【資料6】に基づき、説明があった。

3 第8回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて

委員長から、【資料7】のとおりフォーラムの報告書の纏めを添付していることの報告があった。

○その他

1 「岡山学生連合」について

委員長の指名により、環太平洋大学の中原委員から、机上配付資料に基づき説明があり、東日本大震災復興支援ボランティアに参加した環太平洋大学の学生を中心に、県内の大学に所属する学生に呼びかけ、ボランティア活動を行う「岡山学生連合」が発足されたことの報告があった。

※次回開催予定は追って通知。

以 上